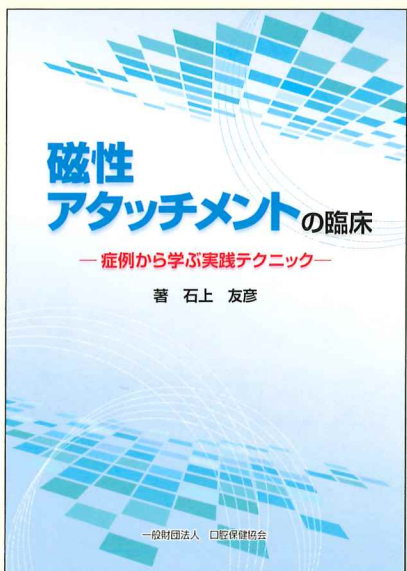


豊富な症例、最新の術式を掲載！

著 石上 友彦

# 磁性アタッチメントの臨床

— 症例から学ぶ実践テクニック —



ISBN978-4-89605-329-6

磁性アタッチメントの有用性と簡便性に魅了された筆者が、豊富な臨床経験をもとに磁性アタッチメントの適応、術後にトラブルが生じない利用方法やその要点、メンテナンス等についてまとめた1冊です。症例ごとに、多くのカラー写真を用いてわかりやすく解説しており、実践的な手引書となっています。

## 目次

- 第1章 磁性アタッチメントの特徴
- 第2章 磁性アタッチメントの歴史と変革
- 第3章 臨床術式
- 第4章 症例
  - オーバーデンチャー/Magnotelescopic Crown (MT冠) / 歯冠外アタッチメント/インプラント治療/顎顔面補綴治療/義歯修理
- 第5章 問題点への対応
- 第6章 メンテナンス
- 第7章 トラブルへの対応




- B5判
- 124ページ
- カラー
- 本体3,500円+税
- 送料300円

第3章 臨床術式



116 磁台トレによる磁台印痕はトレを支台歯面に適合させるために、内面に常温重合レジン塗り、光沢がなくなるまでおく



117 フィニッシュラインに常温重合レジン塗り、図16のトレを支台歯面に圧着する



118 精製にフィニッシュラインをトレに接触させることが印痕採得のポイントである



119 磁面に磁台トレを適合させるために、磁台歯や粘板にガイドを定める



120 粘板にガイドを求めた時の印痕採得の手順



121 磁台トレによる磁台印痕の採得



122 支台歯のみを磁台トレによるシリコン、全体をアルジノートでの印痕



磁台トレの種類

- ・磁台トレ-磁石のみ
- ・粘板面にガイドを定めるもの
- ・磁石にガイドを定めるもの

③ 磁台トレは唇側磁板と同様に製作するが、トレ外周にアンチカットを付与し、歯列印痕内に取り込まれるようにする。ポスト部は除去しておく。これは印痕から行方を外す際、機械が破損するのを防ぐためである。また、製台トレを支台歯面に適合させるために、唇側トレ内面に常温重合レジン塗る(図16)。

④ 次に、支台歯フィニッシュライン全周に常温重合レジン塗る(図17)。その後、トレに接着レジンの厚みが揃えられたら、支台歯フィニッシュラインにレジン塗るのとよい。次にトレを支台歯面に圧接し、常温重合レジンによりフィニッシュラインを採得する(図18)。この時間差によりレジンのフローをコントロールすると、フィニッシュラインが明確にレジンにより採得できる。これは唇側磁板のウォッシュと同様である。

⑤ 図19から21に製台トレによる印痕採得の実際を示す。

⑥ シリコンラバー印痕材のコストが高く、採算を考慮したり、唇歯前の動揺が気になるような場合は支台歯のみラバー印痕材を使用し、歯列印痕はアルジノートを用いると容易

### 5. 根面板の製作

磁性アタッチメントのキーパー付根面板の形態は、無歯歯に対して利用する根面板の形態を基本とする。つまり根面板の高さを可及的に低く設計することにより、支台歯が受ける傾力や傾転力に対する抵抗を少なくし、義歯に加わる大きな外力を支台歯面に伝達しない。しかし、根面板の縁面に立ち上がりを作り、傾力に抵抗する形態にすると、リジッドな層状装置と